

でツリー産恋婦



25日まで明治大学

婦恋村産モミの木を電飾した巨大クリスマスツリーが三日、東京・神田駿河台

の明治大学キャンパス内ホールにお目見えした。写真。空き店舗活用や古民家再生などを通じて連携を続けている村と明大が今月、

協定を締結することを記念して飾られ、行き交う学生たちを楽しませている。ツリーは高さ八メートル。三百個の電球に装飾が付けられ

クリスマス気分

ている。大学と村の交流事業を手掛ける学内ベンチャー企業「アイ・フォスター」が村内の業者からモミの木を購入した。

明大の納谷広美学長は十四日に村役場を訪れ、熊川栄村長とともに協定書に調印。これまで商学部中心に続けられた村との連携を他学部へ広げ、教授らが村内で出張講演することが検討されている。ツリーの展示は二十五日まで。女子学生は「装飾もかわいいし、最高」と、キャンパス内で盛り上がるクリスマスムードを楽しんでいた。